



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp

第49号



第三十五回 琴清苑敬老感謝祭

■ 羽黒三田神社囃子振興会の皆さん

ごあいさつ

社会福祉法人双葉会 常務理事
佐藤 泰裕

五月の終わりに心不全で緊急入院をし、慢性の腎不全による肺水腫のため心不全を引き起こしたことが判明しました。その後機能が5%程度であるため血液透析を毎週3回にわたり実施する身となりました。入院又透析中感ずることは、一人の命に大勢の救いの手あるということを実感させられその時頭に浮かんできたのが、仏乗般涅槃略説教誡経（道教経・道経）「お釈迦様が涅槃を般すにあたって略して説いた教誡のお経」の一説でした。

「所受の法を念じて忘失せしむこと勿れ。常に當に自ら勉めて精進して之を修すべし。為すこと無うして空しく死せば後に悔いあること致さん。我は良医の病を知って薬を説くが如し、服すと服せざるは医の咎に非らず。又善く導くものの、人を善道に導くが如し、之を聞いて行かざるは、導くものの過に非ず。」（名医が、病氣をよく診断して薬を処方するように、それを服用するかしないかは医師の責任ではありません。あるいはよく道案内をする人がよき方向へ導くようなものです。この案内を聞いてもいかないのは案内人の罪ではありません。だからこそいただいた教誡を思い続けて忘れてはなりません。いつでも自分から励んで精進して、この教誡を修業すべきです。）

以前から診察を受けながら、その道の教誡をないがしろにすれば頼むは自分自身に必ず戻ってくるあるものと同じく感じられ、仏の教誡は二五七七年経ても大事にしなればならないと思ひ知らされました。

地震、原発、台風等今日日本は自然から人工から窮地に陥っています。まず必要なのは自分自身が助け合ひいかに生き考えることなのではないでしょうか。そのことをつくづく考えさせられる透析の日々です。

平成23年度 第三者評価スケジュールについて

下記のとおり、平成23年度第三者評価事業を受審致します。

- ① 経営層合議用事業評価説明会 11月24日(木)
- ② 職員説明会 11月24日(木)
- ③ 職員分析シート提出期限 12月13日(火)
- ④ 経営層合議用分析シート・事業プロフィール・その他事業計画等の依頼資料提出期限 12月13日(火)
- ⑤ 利用者ヒアリング調査 12月19日(月)
- ⑥ 訪問調査 1月24日(火)
フィードバック 2月24日(金)

施設内トイレの改修工事について

施設設備の老朽化により、トイレブース・便器等の改修工事を9月5日より10月末日までの工期により行っております。利用者・面会時のご家族の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

平成23年度介護情報サービスの公表について

平成23年度の「介護サービス情報の公表」制度訪問調査が9月22日(木)に(財団法人日本チャリティ協会)により行われました。

公表結果については、【とうきょうナビゲーション <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>】でご確認ください。



古里友釣り研究会の皆さんと

7月19日古里友釣り研究会の方たちから、160尾もの沢山の鮎を戴きました。利用者の代表で受け取った方はその美しい姿に感動し、普段は食べない魚を食べたいと希望され、早速厨房で塩焼きにして昼食に提供すると、おいしいと食されました。他の利用者の方も頭から食べられたり、季節の恵に魅了され戴いた方々に感謝の一日となりました。

鮎の寄贈を受けました



身をほくし利用者に提供しました



琴清苑盆踊り

昨年までは浴衣で苑内を流して踊る形態でしたが、今年からは形を変え、利用者の方々には階娯楽室にお集まり頂き、その周りを職員が盆踊りの曲に合わせて、賑やかに踊りを披露しました。

利用者皆様は、昨年までの浴衣姿と違う、はっぴ姿に驚きながらも、元気な盆踊りとその懐かしい音色を楽しまれた様子でした。



第35回琴清苑敬老感謝祭

式典に引き続き行なわれた演芸会では、初めに琴清苑OB会による日舞やOB13人衆による楽しい踊りを披露して下さいました。次に西川寛之佑会の艶やかな踊りが有りました。最後に羽黒三田神社囃子振興会の見事なお囃子と琴清苑職員も加わった奇妙でユーモラスな踊りに拍手と笑いで盛り上がり、利用者や家族皆様も大喜びでした。又、ポランティア・ダイナの会による模擬店が開かれ、演芸と美味しい食べ物と両方を楽しんで頂く事が出来ました。

今年も多くのポランティアに支えられて、利用者皆様、ご家族皆様に対しての敬老感謝祭を開催する事が出来ました。



自衛消防審査会

9月13日に自衛消防審査会が行われました。奥多摩消防署立会いのもと、5名の職員が夜間を想定した訓練を行いました。



柚木先生の赤話



奥多摩を初めて訪れて以来その美しい自然にすっかり魅せられ、時々、苑の周辺を散策しています。都心は季節感に乏しいのですが、奥多摩では、たった一週間の間にも季節は確実に移ろっていることが感じられます。お祭りや花火、獅子舞といった伝統行事がそれぞれの季節に彩を添えています。最近はそのらを写真に撮影するのが新たな趣味となりましたので、今回は原稿代わりにその写真を載せて頂くことにしました。

これからも体力と時間の許す限り歩き回って、紅葉、冬景色、新緑と四季それぞれの美しさを写真に残しておきたいと思っています。



行事予定

- 10月7日 運動会
- 11月11日 誕生会
- 11月14日・15日 全館清掃
- 12月8日 誕生会
- 12月6日 誕生会
- 12月21日 誕生会
- 12月25日 砂ず湯
- 12月25日 年忘れ大会



《入苑された利用者》

平成二十三年七月～九月

- 8月 奥多摩町 小菅村 1名
- 9月 三鷹市 練馬区 1名

《ポランディア状況》

平成二十三年七月～九月 (敬称略)

- 介護補助 杉山 初
- 指圧 幸仕 奥多摩幸仕会
- 敬老会 桜屋 双葉ターナナの会



◆ 編集後記 ◆

大きな台風が本州を通り過ぎました。皆様の所は被害はなかったでしょうか？おかげさまで清苑は少し雨漏りが有っただけで、無事利用者の方には迷惑を掛けずに済みました。十月に入ると奥多摩は急速に季節が進みます。移ろい行く自然を味わいながら家族の顔をみればお出かけください。